

「だんだんあふれて、いい感じ」

令和6年6月13日 5年2組 山崎 さつき 教諭

段ボール片の形を変えた姿から想像を広げ、組み合わせやバランスを考えたり試したりする中で、自分の表したいものを発想し、表し方を工夫して立体に表す。

第1時

段ボールを触って、段ボールの新しい形を見付けよう。

＜表したいことを見付け、どのように表すかを考える＞
段ボールの面白さに気付かせる時間の設定



切ったり、はがしたり、穴を開けたり、
いろいろなことができるね。

たくさん切り込みを入れて、反らした
らお花の形に見えてきたよ。

第2時 本時

段ボール片の新しい形を「いい感じ」に組み合わせ、
表したいことを見付けよう。



いろんな角度から見るとおもしろい
ね。ゴージャスな鳥にしていきたいな。

いい感じ！最初は未来の乗り物だったけ
ど、かぶるものもいいかもしれない！

第3時 第4時

自分の主題にせまれるように、さらに工夫して表そう。

＜自分なりの意味や価値を作り出す。＞
児童同士の自然な対話が生まれる場の設定（ステージの設定）



第5時

お互いの作品を鑑賞して、
友達のよさを伝えたり感じ取ったりしよう。

組合せ×バランスにつながる言葉にする振り返り



チクン花
カッターで切って、反らした形でトゲトゲを
表しました。



廃ビルのにさいた花
切って、はがした段ボ
ールで「つた」を表現
しました。



ブロッコリーの家
段ボールを細かく切り
刻んでブロッコリーの
芽を表しました。